日食工だより

2005年3月号

▲ FOOMA アカデミー修了式
2005 年 2 月 4 日(金)
於：JAL シティ田町

目　次

・実施レポート ---------- 2
・委員会レポート ---------- 3
・お役立ち情報 ---------- 7
・News＆お知らせ ---------- 8
・国内･外展示会情報 ---------- 10
・日食工月間行事予定（3～4 月）---------- 12
【付録】統計･業界動向、中国レポート

実施レポート

ご参加およびご協力いただき、ありがとうございました。

第5期FOOMAアカデミー

実施日：2月1日(火)～2月4日(金)
場　所：日食工会議室

参加してよかった！充実した4日間

第5期FOOMAアカデミー(定員24名)を2月1日(火)から4日間の日程で実施しました。

受講生の年齢・キャリアは様々で、設計や開発などの技術系の職務に従事する方が約7割を占めました。

FOOMAアカデミーでは、受講生を5つにグループ分けし、グループ単位での討論やプレゼンテーションを重視しています。同業・異業の枠を越え1つの課題に取り組むことは、スキルアップだけでなく貴重な人脈作りにもつながると好評です。

第5期は昨年の第4期とほぼ同様の科目構成とし、より具体的な事例を交えた講義内容に改善した結果、終了後のアンケート総合評価は、5段階評価で4.2(前回比+0.3ポイント)と満足度を上げることができました。受講生の主な感想には「食品工学の研修でこれほどまとまっており、内容の充実した研修はほかにない」「同業他社の方と本物の意見を交換ができたのが良かった」「短い時間で幅広い内容の講義を一度に受講できるのは大変良かった」「問題解決力育成は普段なかなかできないことなので、参加して良かった」等の好意的な意見が多数寄せられました。また、「問題解決力育成をもう少し早く開始してほしい」「時間を長くしてほしい講義もあった」「日程を長くしてほしい」などの要望もありました。

最終日のグループ発表後は、推薦者、講師、日食工役員を交えて、修了式と修了パーティが行われ、修了者同士名残を惜しむ姿が見られました。

FOOMAアカデミー運営委員会では、受講生の意見をもとに、一層充実した研修機関を目指し企画・運営を行って参ります。次回第6期は平成18年2月開講を予定しておりますので、是非ご参加ください。

中部支部会

実施日：2 月 17 日(木) 13:00～19:30
場　所：ヤマザキマザックほか

世界の技術に触れ、懇親を深めた地域別支部会

今回の中部支部会は、団体会員の中部包装食品機械工業会さんにも参加をいただき総勢 14 人で、ヤマザキマザックの美濃加茂製作所を見学しました。

美濃加茂製作所は、岐阜県美濃加茂市の緑豊かな丘陵地帯に位置し、総面積 330,000 ㎡の広大な敷地に工作機械生産工場がありました。

初めに、松宮副所長より世界の工作機械メーカーヤマザキマザックと生産工場である美濃加茂製作所の概要について解説していただいたあと、レーザー加工のショールームや、実際に稼動している工場で複合加工機・ユニットを組み立てる様子などを見学しました。

ヤマザキマザックでは、無駄なくユーザーのニーズに対応するための受注生産体制システムを実現し、現在は 2 ヶ月先まで受注がいっぱいとのことでした。参加者は熱心に聞き入り感嘆し、あっという間の 2 時間でした。

その後、名古屋に戻り「舞鶴館」で情報交歓会を開催しました。渡辺支部長の司会、中部支部会初参加の鈴木専務理事の就任挨拶に続き中部包装食品機械工業会の生田会長の挨拶、乾杯で懇親会が始まりました。途中、尾上会長も参加し、参加各社の経営課題から 3 月に開催される愛知万博の話など多くの話題で盛り上がりました。

委員会レポート

2 月中に開催した委員会活動を報告します。

第 87 回技術委員会

実施日：2 月 8 日(火) 14:00～16:30
場　所：浅草ビューホテル

議題ならびに決定事項は以下のとおりです。

1) AP 新交流会及び企画(案)について

来年度は、従来の AP 交流会に企業 PR ポスター展示を加えた案を実施する旨確認しました。

食品製造と食品機械の関係をわかりやすく紹介するため、食品機械についての解説を映像化する企画を行う旨確認しました。

2) 研究助成報告会について

今年度は平成 15 年度の成果報告と平成 16 年度

の中間報告を同時に開催することとし、案内状を会員企業各社に送付することを確認しました。

3)研究助成の選考について

研究助成の申し込みが9件あり、技術委員による投票で1件に絞ることになりました。次回のAPWGで開票し、最終決定することを確認しました。

4)研究者ガイドについて

1月に完成した研究者ガイドを会員企業各社へ配布することになりました。来年度は本ガイドのデータを整理するのみとし、毎年発行する必要がないことを確認しました。

5)技術委員会新企画(案)について

技術委員会ホームページを作成するための企画・調査を行う旨確認しました。

部会制を改め、再編成案を次回の委員会で検討することを確認しました。

▶ 次回開催日：3月8日(火) 14:00～17:00
(第3回APWG)

第4回取扱説明書作成ガイドライン調査研究委員会

実施日：2月15日(火) 15:00～17:00
場　所：日食工会議室

議題ならびに決定事項は以下のとおりです。

1)取扱説明書ガイドライン最終原案について

取扱説明書ガイドラインの最終原案について確認を行い、使用単位の修正や注意事項の追加などの修正を行うこととなりました。

2)説明会の開催について

作成したガイドラインについて、説明会を東京・大阪で実施することが承認されました。開催日時は次のとおりです。

【大阪会場】
3月23日(水) 13:30～15:45 新阪急ビル12階
【東京会場】
3月25日(金) 15:00～17:15 ANJO1ビル 7階

3)その他

目標とするガイドラインの作成がスケジュール通り完了する見通しがついたことから、本会議をもって当委員会の役割を終了することが委員長より宣言されました。

第219回広報委員会

実施日：2月16日(水) 15:30～17:30
場　所：日食工会議室

議題ならびに決定事項は以下のとおりです。

1)展示会連携事業について

①トークショーについて

出演者が確定した旨、報告がありました。

【阿川佐和子さん】
展示会2日目：6月8日(水) 13:30～14:00
【浅田美代子さん】
展示会4日目：6月10日(金) 13:30～14:00

②メインビジュアルコンペについて

メインビジュアルコンペのあり方について、前回に引き続き検討しました。

コンペは来年度以降も引き続き行うことを確認し、詳細については次回以降も検討していくことになりました。

2)平成17年度事業計画・平成16年度事業報告について

①事業報告・計画について

日食工事務局案をもとに検討し、来年度も時局講演会・機関誌「ふーま」の発行を始めとする広報活動を行っていく旨確認しました。

②時局講演会について

来年度の時局講演会の講師について検討しました。

今年度の講師を決定する際候補に上がった方と講演会後のアンケート結果から作った一覧をもとに、予算やスケジュール等の諸条件を考慮した結果、講演を主に活動している方を中心に講師をお願いすることになりました。次回詳細を決定します。

3)平成17年度広報委員会開催スケジュールについて

来年度の広報委員会スケジュールを決定しました。4/13(水)、5/11(水)、6/24(金)、7/14(木)、9/7(水)、10/5(水)、12/7(水)、1/13(金)、2/15(水)計9回、いずれも15:30～17:30です。

4)ふーま85号について

5月末発行予定のふーま85号企画案について検討しました。

▶ 次回開催日：4月13日(水) 15:30～17:30

第56回国際委員会

実施日：2月17日(木) 12:00～14:30
場　所：日食工会議室

議題ならびに決定事項は以下のとおりです。

1)平成17年度事業計画案について

事業計画案について検討しました。次年度は、アセアンを始めとしたアジア諸国を視野にいれた事業を展開していくこととしました。

重点市場である中国については、次年度も検討を続け、会員のニーズをより吸収できる仕組みを考えていくことになりました。

2)FOOMA JAPAN 2005国際化推進活動について

事務局より、海外関係団体・メッセに対する国際食品工業展でのブース提供状況について報告があり、今後友好関係を築くべく、米国大使館へのブース提供を展示会実行委員会に追加提案することになりました。

3)平成17年度海外展示会への出展活動について

ソウル国際食品見本市(5/17～20 高陽)について、主催者である韓国貿易投資振興公社からのブース提供を受け出展することとし、事務局がブース運営することになりました。

China Foodtech(10/26～10/29 北京)、Pro Pack China(7/26～7/28 上海)については、北京と上海では市場が異なるため、双方に出展する方向で検討し、World Wide Food Expo 2005(10/26～10/29 シカゴ)はChina Foodtechと会期が重なっていることから、ジェトロの協力を得て事務局で対応することになりました。

また、アヌーガフードテック(2006/4/4～4/7 ケルン)についても出展することとしました。

4)平成17年度海外視察について

11月までに実施し、視察先をアジアに絞り詳細を検討することとしました。

▶ 次回開催日：4月11日(月) 15:00～17:00

第3回安全衛生企画委員会

実施日：2月22日(火) 12:00～14:00
場　所：日食工会議室

議題ならびに決定事項は以下のとおりです。

1)講演:EHEDGサニタリーデザイン認証制度について

近年注目を集めているEHEDGの構造認証について、エンドレスハウザージャパンによる講演が行われました。講演では、認証に使用される規格や認証試験の概要について解説がありました。

2) 平成 17 年度事業計画について

平成 17 年度の事業計画について検討し、主に「JIS 規格の科学的検証」「欧米関連法規の調査」「JIS 規格の普及」等に取り組むこととなりました。

3) その他

ISO/FDIS 22000 が 5 月に発行予定となっており、FDIS では食品加工設備に関する事項が加わる可能性が指摘されています。規格発行後の 5 月中旬以降に ISO の国際会議に参加している方を講師に招き、FDIS の概要と食品加工設備の関連について講演を依頼する旨承認されました。

▶ 次回開催日：平成 17 年 5 月

FOOMA JAPAN 2005
第 4 回展示会実行委員会

実施日：2 月 22 日(火) 15:00～17:00
場　所：日食工会議室

議題ならびに決定事項は以下のとおりです。

1) 出展申込状況について

2 月 21 日現在の出展申込状況について、関係団体への提供小間を含め 496 社 2,504 小間となった旨、報告がありました。

2) 会場構成について

会場設計の基本方針について説明があり、会場構成を検討しました。

前回からの変更点として、消防規則の変更に伴い防火区画帯の通路幅が従来の 6m から 5m になったため、展示スペースが若干増えたことや、展示ホールが全館禁煙になったこと、一般来場者用休憩ラウンジは従来の場所と規模が確保できないため、ミニラウンジを数カ所設置すること等の説明がありました。

3) 特別行事・併催行事について

アカデミックプラザ、プレゼンテーションセミナー、フォーラム、各種シンポジウム等の併催行事や青年部の企画する食品リサイクル法関連企画、トークショー等ステージイベントの進捗状況について報告があり、内容の確認を行いました。

4) FOOMA JAPAN 2006 のメインビジュアルについて

14 社 34 点の応募作品の中から、広報委員会が選考した 4 点について審査した結果、うち 1 点を 2006 年のメインビジュアルに選定しました。

5) その他

海外関係団体とのブース交換・提供の進捗状況についての報告と出展者説明会・記者発表会の日程について再確認しました。

最後に、海外(中国・韓国等)向けダイレクトメールについて検討し、情報の内容・コスト面を考慮した結果、今回は見送ることとしました。

▶ 次回開催日：5 月 10 日(火) 14:30～17:00

お役立ち情報

官公庁および各関係団体からの耳よりな情報をお知らせします。

■ジェトロ･シカゴセンター

○「食品加工機械月例レポート」

1. 米国における食品機械月例レポート(2004 年 10 月/11 月のデータ)
2. 食品機械･食品安全等に関するトピックス

・鶏肉業界、輸出拡大に向け積極投資
・ブッシュ大統領、特産作物競争力強化法に署名
・食品輸出大国への成長に期待
・カナダ産生体牛の輸入再開の最終規則を公表
・EU のバナナ関税引き上げに反発

○「AMERICAN NEW POLICY」

・大統領が民間に支援よびかけーインド洋津波被害への米国の対応
・USTR、中国の WTO 遵守状況を肯定的に評価
・「企業フランチャイズ税」対象大幅拡大の可能性
・税負担増が労働意欲を阻害する可能性
・ボランティア活動などで地域社会に貢献する中小企業
・商務省、日本製船外機に「クロ」の最終決定
・中国での部品調達に関心高い欧米企業
・インフレなき成長が続く米国経済(ベージュ･ブック)
・狙いは制度としての安定か、あるいは政府の役割縮小か～ソーシャル･セキュリティ改革をめぐる疑心暗鬼
・米政府、イラン兵器開発支援で中国企業に制裁
・エバンス商務長官、知的財産権保護の強化を訴えるー任期最後の中国訪問
・中小企業を取り巻く金融環境は改善

■業界紙発！

○食品のおいしさ、食感広がる 天然増粘安定剤の最新動向

食品産業で天然物由来の多糖類素材が広く使用されている。いわゆる増粘安定剤と呼ばれるもので、増粘･ゲル化･安定化などの目的で使用され、食品の構築や食品のおいしさ、食感(テクスチャー)の付与に寄与している。これらの増粘安定剤(増粘剤･ゲル化剤･安定剤)の動向を概観する。

＊ 記事の詳細は、日本食糧新聞(1 月 31 日)をご覧ください。

○佐竹代表が京都大学で博士号を取得

㈱サタケは 24 日、同社の佐竹利子代表が同日、京都大学で農学博士号を取得したことを明らかにした。博士論文のテーマは「γ-アミノ酪酸生成による高機能性米の調整加工に関する研究」。

同研究は、通称ギャバといわれるγ-アミノ酪酸に焦点を当て、その効果的な生成法の開発に取り組んだもの。

＊ 記事の詳細は、農経しんぽう(1 月 31 日)をご覧ください。

○コメ消費減少で“米粉”に注目 食育フェア「米粉パン工房」出展

主食用としてのコメの消費が減少する一方、焦点が当てられているのが米粉。2002 年に発足した「近畿米粉推進協議会」が、2005 年 1 月に都内で開催された『第 2 回食育総合展ニッポン食育フェア』に「米粉パン工房」を出展。今年 2 月に発足予定の「全国米粉食品普及推進会議」の米粉パンの普及活動などと合

わせて紹介する。
＊ 記事の詳細は、食品産業新聞(1 月 31 日)をご覧ください。

○仏豚肉ミッション 対日輸出年間 3 万トン目指す

来日中のフランス豚肉ミッションは 19 日、フランス大使館で記者会見とセミナーを開催した。記者会見で「日本への輸出は他国への模範となり重要。今後は年間 3 万トンの輸出を達成したい」との見通しを示した。今回来日の目的の 1 つは、フランスの衛生対策のモデルを紹介すること。日本に安心してもらうため、透明な衛生情報を提供していきたい。
＊ 記事の詳細は、食品産業新聞(1 月 31 日)をご覧ください。

○ポーランドで即席めん事業 味の素が本格展開

味の素㈱は、ワルシャワの SAMSMAK 食品を買収し、ポーランドで即席めん事業の本格展開を図ることになった。2004 年 11 月に袋入り「SAMSMAK」5 品種を発売、1 月からはカップ入り 4 種類をポーランド市場対象に新発売する。今後、市場での本格的シェア拡大を狙い、早期に売上高 10 億円を目指す。
＊ 記事の詳細は、日本食糧新聞(1 月 31 日)をご覧ください。

○次は「植玩」 タカラ植物を育てる玩具を

㈱タカラは 2 月から「植物を育てること」と「遊び」を融合させた玩具の新カテゴリー「植玩」シリーズを展開する。同社は「植玩」を通して植物が成長することの驚きや喜びをきっかけにやさしい気持ちや自然への慈しみ、生命の大切さ、親子のコミュニケーションなどを育むことを提案する。
＊ 記事の詳細は、日本食糧新聞(1 月 31 日)をご覧ください。

○水産高生が新製品開発 素材は怪物エチゼンクラゲ

漁師の大敵がおいしい“美肌ゼリー”に―。福井県小浜市の県立小浜水産高校の生徒たちが、エチゼンクラゲを粉末加工する技術を使い、フルーツゼリーや豆腐を相次ぎ開発した。製品は全国の水産高校生らが集まる発表会で奨励賞を受賞。県内外の食品メーカーから商品化の打診も入っており、生徒たちは「試行錯誤の連続だったけど、形になってよかった」と手ごたえを感じている。
＊ 記事の詳細は、トーヨー新報(2 月 1 日)をご覧ください。

News & お知らせ

日食工および会員企業の最新情報をお知らせします！

お悔やみ

鈴茂器工㈱ 代表取締役会長 鈴木喜作氏 が 2 月 26 日にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

なお、密葬は 3 月 2 日(水)に執り行われました。また、社葬は 3 月下旬に執り行います。

連絡先　鈴茂器工㈱ 総務部　TEL 03-3993-1372

新人事について

ブリヂストンフローテック株式会社は、平成 17 年 1 月 1 日付で代表取締役･平野節也氏が相談役、野田明志氏が代表取締役へ就任しました。

住所変更のお知らせ

■本社移転

花木工業株式会社

［新住所］

〒110-0016　東京都台東区台東 4-20-5

TEL 03-3834-1561 / FAX 03-3834-2185

（2005 年 1 月 24 日より）

■市町村合併に伴う本社の住所変更

三鈴工機株式会社

［新住所］

〒510-0103　三重県四日市市楠町北五味塚 530

なお、電話･FAX は変更ありません。

（2005 年 2 月 7 日より）

経済産業省からのお知らせ

平成 17 年度経済産業省企業活動基本調査にご協力ください。

経済産業省では、第 12 回目の「経済産業省企業活動基本調査」（指定統計第 118 号）を平成 17 年 6 月 1 日現在で実施いたします。

この調査は、我が国企業における経済活動の実施を明らかにし、経済産業政策等各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。

調査の対象は､別表に属する事業所を有する従業者 50 人以上かつ資本金 3,000 万円以上の会社（合名会社、合資会社、株式会社及び有限会社）で、会社全体の数値をご報告していただきます。

調査票の提出は、紙調査票によるほか、インターネットからオンラインで提出することができます。オンラインの利用申し込み資料は、調査票等の調査関係書類と同時に経済産業局を経由し、5 月下旬に郵送します。

調査の結果は、平成 18 年 3 月末に速報の公表を予定しており、ご報告いただいた会社に当省で作成した統計情報をお送りいたします。

皆様から提出いただいた調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守され、統計を作成する目的以外には使用されることはありませんので、調査に対する御協力をお願いいたします。

（別表）

鉱業、製造業、電気行、ガス業、卸売業、小売業、クレジットカード業、割賦金融業、一般飲食店のほか、下記の産業の括弧内の業種が対象になります。

○情報通信業（ソフトウェア業、情報処理･提供サービス業、インターネット付随サービス業、映画･ビデオ制作業、テレビ番組制作業、新聞業、出版業）

○教育、学習支援業（外国語会話教室、フィットネスクラブ、カルチャー教室（総合的なもの））

○サービス業（デザイン･機械設計業、エンジニアリング業、葬儀業、結婚式場業、写真現像･焼付業、ゴルフ場、ボウリング場、遊園地、テーマパーク、機械修理業、電気機械器具修理業、物品賃貸業（レンタル業を除く）、広告代理業、商品検査業、計量証明業、ディスプレイ業）

国内・外展示会情報

食や機械に関する展示会をご紹介します。(*印は日食工協賛展示会)

2005年4月～2005年5月 ／ 国内

◆2005豆腐フェア
会期　4月9日(土)～4月10日(日)
会場　東京ビッグサイト
主催　全国豆腐油揚(商工、協同)組合連合会、全国豆腐機器工業会ほか
連絡先　2005豆腐フェア事務局 ☎03-3833-9351
URL　http://www.zentoren.jp/info/news02.html

◆第8回ファベックス2005
会期　4月13日(水)～4月15日(金)
会場　東京ビッグサイト
主催　㈱日本食糧新聞社
連絡先　日本食糧新聞社展示会事務局 ☎03-3271-4816
URL　http://www.nissyoku.co.jp/fabex/fabexpage/

◆'05関西食品産業展 / A-PACK 2005 OSAKA
会期　4月13日(水)～4月16日(土)
会場　インテックス大阪
主催　日報イベント㈱
連絡先　同上 ☎06-6262-2403
URL　http://www.nippo.co.jp/fomatech/

◆第19回2005EMC･ノイズ対策技術シンポジウム*
会期　4月20日(水)～4月22日(金)
会場　幕張メッセ
主催　㈳能率協会
連絡先　シンポジウム事務局 ☎03-3434-1410
URL　http://www.techno-frontier.com/ss06_emc/

◆ifia JAPAN 2005 / HFE JAPAN 2005
会期　4月26日(火)～4月28日(木)
会場　東京ビッグサイト
主催　㈱食品化学新聞社
連絡先　運営事務局 ☎03-5212-7071
URL　http://www.ifiajapan.com/

◆IFP JAPAN 2005(国際食品包装産業展)
会期　4月26日(火)～4月28日(木)
会場　東京ビッグサイト
主催　E.J.クラウス&アソシエート日本支社
連絡先　同上 ☎03-5212-7071
URL　http://www.ifp-japan.net/

◆第5回2005西日本食品総合機械展･西日本厨房機器展
会期　5月18日(水)～5月20日(金)
会場　マリンメッセ福岡
主催　㈱日刊工業新聞社
連絡先　日刊工業新聞西部支社営業部 ☎092-271-5715
URL　http://www.nikkanseibu-eve.com/food/

◆第4回国際バイオEXPO
会期　5月18日(水)～5月20日(金)
会場　東京ビッグサイト
主催　リード エグジビション ジャパン㈱
連絡先　国際バイオEXPO 事務局 ☎03-3349-8509
URL　http://www.bio-expo.jp/bio/jp/index.phtml

2005年4月～2005年5月 ／ 海外

◆Food and Hotel Indonesia 2005
会期　4月6日(水)～4月9日(土)
会場　Jakarta International Expo
主催　PT. Pamerindo Buana Abadi(インドネシア・ジャカルタ)
連絡先　同上 ☎+62-021-316-2001
URL　http://www.pamerindo.com/2005/fhi05exh.htm

◆CHOCOA
会期　4月10日(日)～4月12日(火)
会場　Brussels Expo Belgium(ベルギー・ブリュッセル)
主催　Brussels Fairs & Exhibitions
連絡先　同上 ☎+32-2-474-84-27
URL　http://www.chocoa-online.org/

◆食品・飲料・加工技術・材料・包装国際見本市 INTERFOOD
会期　4月11日(月)～4月14日(木)
会場　Exhibition Centre Lenexpo(ロシア・サンクトペテルブルグ)
主催　ITE Group PLC
連絡先　同上 ☎+44-0-207-596-5188
URL　http://www.primexpo.ru/interfood/eng/

◆パリ国際製パン製菓見本市 EUROPAIN2005
会期　4月16日(土)～4月20日(水)
会場　Paris-Nord Exhibition Center(フランス・パリ)
主催　Europain Développement
連絡先　フランス見本市協会 ☎03-3405-0171
URL　http://www.europain.com/

◆国際包装機械・資材・製菓機械展 interpack 2005
会期　4月21日(木)～4月27日(水)
会場　Duesseldorf Exhibition Centre(ドイツ・デュッセルドルフ)
主催　Messe Duesseldorf GmbH
連絡先　同上 ☎+49-0-211-4560-01
URL　http://www.interpack.de/

◆Food Hotel Propac Arabia
会期　5月1日(日)～5月5日(木)
会場　Jeddah International Exhibition Centre(サウジアラビア・ジェッダ)
主催　Al Harithy Company for Exhibitions Ltd.
連絡先　同上(London Office) ☎+44-0-20-7223-3431
URL　http://www.acexpos.com/

◆FOODTECH 2005
会期　5月9日(月)～5月14日(土)
会場　Plovdiv Fairground(ブルガリア・プロヴディフ)
主催　International Fair - PLOVDIV
連絡先　同上 ☎+359-32-902-494
URL　http://www.fair.bg/en/events/Foodtech2005.htm

◆HOFEX 2005
会期　5月10日(火)～5月13日(金)
会場　Hong Kong Convention & Exhibition Centre(中国・香港)
主催　Hong Kong Exhibition Services Ltd.
連絡先　同上 ☎+852-2804-1500
URL　http://www.hofex.com/

◆12th International Packaging Exhibition
会期　5月16日(月)～5月19日(木)
会場　Chang Ping Exhibition Center(中国・広州)
主催　Paper Communication Exhibition Centre
連絡先　同上 ☎+852-2763-9011
URL　http://eng.paper-com.com.hk/

◆SEOUL FOOD 2005
会期　5月17日(火)～5月20日(金)
会場　KINTEX(韓国・ソウル)
主催　KOTRA、KFIA
連絡先　同上 ☎+82-2-3460-7672
URL　http://www.seoulfood.or.kr/en/

◆KOREA PACK 2005
会期　5月17日(火)～5月20日(金)
会場　KINTEX(韓国・ソウル)
主催　KOTRA、KFIA
連絡先　Kyungyon Exhibition Corp. ☎+82-2-785-4771
URL　http://www.koreapack.org/

◆Food Tech 2005
会期　5月26日(木)～5月28日(土)
会場　International Fairs Ground(エジプト・カイロ)
主催　-AGD- Arabian Group for Development
連絡先　同上 ☎+202-305-0898
URL　http://www.agd-exhibitions.net/

社団法人 日本食品機械工業会

月間行事予定(3～4 月)

月	日(曜日)	時　間	行　事	場　所
3	1(火)	12:30～15:00	第 14 回運営委員会	日食工会議室
	8(火)	14:00～17:00	第 3 回アカデミックプラザ 2005WG	日食工会議室
	10(木)	14:00～20:00	青年部幹事会･全体会 (研修会)	ﾎﾃﾙｻﾝｶﾞｰﾃﾞﾝらぽーと他
	11(金)	18:00～20:00	平成 16 年第 5 回正副会長会議	八重洲大飯店
	14(月)	15:30～17:00	第 6 回第 5 期 FOOMA アカデミー運営委員会	日食工会議室
	15(火)	14:00～15:30	FOOMA JAPAN 2005 出展者説明会(東京)	有楽町朝日ホール
	16(水)	15:00～17:00	第 220 回理事会	日食工会議室
	17(木)	14:00～15:30	FOOMA JAPAN 2005 出展者説明会(大阪)	大阪･東洋ホテル
	23(水)	13:30～15:45	取扱説明書作成ガイドライン説明会(大阪)	大阪･新阪急ビル
	24(木)	13:00～18:00	FOOMA 研究助成報告会	日食工会議室
	25(金)	15:00～17:15	取扱説明書作成ガイドライン説明会(東京)	ＡＮＪ０１ ビ ル
4	11(月)	15:00～17:00	第 57 回国際委員会	日食工会議室
	13(水)	15:30～17:30	第 220 回広報委員会	日食工会議室
	21(木)	14:00～16:00	平成 16 年度業務会計監査	日食工会議室
	27(水)	15:00～17:00	第 221 回理事会	日食工会議室
	28(木)	14:00～15:00	FOOMA JAPAN 2005 記者発表会	新橋･第一ホテル東京

発　行　日　　2005 年(平成 17 年)3 月 20 日 第 323 号

発　　行　　社団法人 日本食品機械工業会

〒108-0023　東京都港区芝浦 3-19-20 ふーまビル

☎ 03-5484-0981　　🖷 03-5484-0989

✉ info@fooma.or.jp　　🖳 http://www.fooma.or.jp/

発行責任者　　鈴木芳雄